

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年1月29日

【評価実施概要】

事業所番号	1174300416
法人名	加納商事株式会社
事業所名	グループホームゆうあい本庄
所在地	367-0044 埼玉県本庄市見福3丁目8番地9号 (電話) 0495 - 24 - 3201

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年1月15日

【情報提供票より】(平成19年12月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 7 人, 非常勤 7 人, 常勤換算	10.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り
	平屋一部2階建ての1階~2階

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(12月24日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	9 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	72 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	本庄総合病院、西毛病院、本間内科皮膚科クリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、静かな住宅街の一角にある公園前に立地している。落ち着いた建物が印象的なホームである。ホームの中にはたくさんのお花を飾り、壁には多くの絵画が掛けられている。ホールにはソファとマホガニー調の食器入れがあり、隅々まで清潔で穏やかな生活の場である。ホームの自慢は、味も視覚も見事な食事で、「食べる楽しみ」を大切に、利用者からの評判もよい。入浴が足浴を毎日実施するほか、排泄の失敗や臭いの気になる方には清拭をこまめに実施している。トイレはプライバシー保護にも十分留意されており、臭気はまったくない。ホーム長は他のホームとの交流に積極的であり、また、職員間の連携も密で、ケア方針が統一されている。利用者は介護予防のための運動に意欲的で、理学療法士による訪問治療を取り入れている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>介護者の声の大きさ 継続的、定期的な研修 事故報告書の活用 利用者のペースの尊重 鍵をかけない工夫 救急法の徹底の6項目を職員間で話し合い、改善がみられた。しかし、鍵をかけない工夫については、時間を決めての施錠など工夫したが、見守りが困難として、利用者とその家族の理解を得て施錠を継続している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義を職員全体で確認したうえで、日常のミーティング等での確認をへてまとめ、新たな気づきとなっている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者やホームの様子を主に報告している。今回の評価についても報告してある。会議を実施したことから、消防訓練に運営推進会議のメンバーが参加したり、これが縁で取れた野菜が届けられたり、畑にもらいに行く等の関係が出来上がった。また、運営推進会議のメンバーは、年に1度の家族会にも参加してもらい、家族や地域の声も聞き取ってもらっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情ポストを置いたり、定期的に便りを送ったり、面会時には職員から積極的に声をかけ、意見を聞くなどしている。また、変化のあった時には電話での報告を欠かさない。食事をしながらの家族会でも、堅苦しい垣根を取り払った意見交換に心がけている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>公園への散歩で地域住民と交流がある。自治会に加入し、回覧板や隣組の付き合いもしている。近隣の医療機関との連携や食材の買出し等を含め、地元との交流を積極的に進めている。また、ボランティアの訪問や中学生の社会体験の受け入れも行っている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム長以下職員で、事業所独自の理念をつくりあげ、地域の中でその人らしく暮らし続けることの支援を目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員間で常に日々のケアの気づきや具体的なケアのあり方を話し合い、理念の実現に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入り、回覧板を回してもらっており、ホームの新聞も回覧してもらっている。ホーム前の公園での地域住民との交流は世代を超えて広がっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義を職員全体で確認するとともに、自己評価項目をひとつずつ職員全体で話し合いまとめることで、日常のケアを再確認できた。なお、前回の課題についても具体的に解決策を検討し、改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催し、利用者やホームの様子等を報告・協議し、委員の協力を得て消防訓練を実施するなど、サービス向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への市担当者の参加はまだないが、出席をお願いする働きかけはしており、毎回の会議録を市に届けている。また、市担当者とは相談ごとがあると連絡する関係を築けている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に写真も同封して個々に便りを出している。また、変化のあるときには電話で随時報告を欠かさない。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情等を入れるポストを設置するとともに、年に1度の家族会での意見交換なども積極的に受け止めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、半数以上の職員が継続して働いており、また職員の勤務時間もほぼ固定していることから、利用者との馴染みの関係が築きやすくなっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場に研修を支援する姿勢がある。外部研修に参加した場合は、伝達講習を徹底している。また、新規に職員が入った場合には、指導的な職員と一緒に業務に入って日々質問に答え、不明な点を残したり、不安を抱えたままにしておかないようにトレーニングしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人運営の他のホームでは同業者との交流が盛んなので、ホーム長以下職員も実習し、良い点を積極的に取り入れている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と一緒に利用者にもホームを見学してもらい、ホームの雰囲気を実感してもらうとともに、食事の好み、家での習慣などを家族と話し合い、なるべくこれまでの生活の延長で安心感をもってサービスを開始できるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の日常の会話から職員が学んだり、利用者のやれること、やりたいことを見守りつつ、利用者のできることは極力やってもらうようにしている。また、利用者の思いに寄り添い、レクリエーションをとおしての利用者同士の励ましあいなど、支え合う関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの日頃の表情や行動から、本人の意向を汲み取っている。また、白内障の術後の療養を病院ではなく、抑制のないホームでとの本人と家族の願いをなんとか叶えようと、本人対応の夜勤を実施するなど、希望や意向の実現にも努めている。		
1:01					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	現在の課題については、本人・家族、主治医等の意見を反映した介護計画を作成している。しかし、利用者のこれまでの生活歴や趣味等、入居前の記録がほとんど残っていない。		利用者の生活歴を確認することで、より本人らしい、よりよく暮らすためのヒントやアイデアが見つかると思われるので、入所前のことも記録として残し、こうした点も踏まえた充実した計画となることを期待したい。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	最低でも3ヶ月に1回、本人、家族はもちろんのこと職員間でもよく話し合っ計画の見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や白内障の術後の特別な夜勤対応など、要望に応じた柔軟な支援を実施している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看護師2名による日常の健康観察やホーム近くに医療機関があるという立地条件を生かし、医師との連携を密にして適切に医療を受けられるよう支援している。また、希望する利用者には開業理学療法士の訪問リハビリも取り入れ、歩行能力の向上や低下予防に効果を挙げている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアの経験は殆んどないが、かかりつけ医との連携を基本にして、家族とも日常的に連絡や話し合いを密に行い、1日でも長くホームで生活できるよう取り組んでいる。		話し合いの内容や主治医の意見を記録することで、家族、職員ともそれぞれの思いをしっかりと確認でき、悔いのない終末期ケアにつながる。コミュニケーションの良いホームであるので、本人の安らかで満ち足りた思いとともに、家族・職員とも不安で混乱する事のないケアに取り組まれることを期待したい。
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄の失敗は丁寧かつ速やかにきれいにすることで本人の尊厳を守っている。その際言葉かけ、トイレの位置、設備もプライバシー保護に留意したものとなっている。また、記録等は事務所にきちんと管理されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室で過ごす人、体操する人、一人ひとりのペースに沿って穏やかに生活している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの自慢であるが食事は、利用者の好みのものや旬のものを取り入れ、栄養豊かで、見た目も見事な手作りの食事をゆっくり食べられるように提供し、食べる楽しさを実現している。このために調理員を専任で配置している。片付けは利用者にも積極的にやってもらっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2箇所のフロアで違う曜日で入浴日を設定しているので、いつでも希望に応じ入浴できるようにしている。拒否的な利用者にはあまり強制しないようにしている。入浴日以外は全員で午前中に足浴することを取り入れ、喜ばれている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	午前中の懐かしい歌にあわせた体操、夕方の2フロアを縦断する歩行訓練など、寝たきりになりたくないという意欲を大切に生活や、外食などを取り入れた生活を支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの前庭や向かいの公園での外出を主に行っている。利用者の希望によって、近所の外出を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前回の評価で課題となったことから、施錠時間を限定して見守りをしたが、それでも危険な場面があり、利用者と家族と話し合い、鍵を掛けることとしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議のメンバーの協力を得て、夜間を想定した消防訓練を実施し、地域の人々の協力を得られるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりにあった食形態で時間をかけて食べられるよう支援し、摂取状況を把握している。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関をはじめ廊下のポイントにも花（造花）がたっぷり飾られている。また、廊下やホールには折り紙の飾りなどは一切なく、壁には油絵がかけられており、マホガニー調の食器棚やソファがあって、程よい明かりで人工音もなく清潔で落ちついた暮らしのスペースとなっている。トイレや浴室も臭気なくすっきりと片付いている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には全体的にあまり多くの生活道具が持ち込まれていないが、ベッドや布団は利用者の状況に合わせて使えるようにしたり、家族の写真などが飾られるなど工夫している。		